

一般国道188号 柳井・平生バイパスに係る新規事業採択時評価

- ・柳井・平生バイパスの整備により、交通混雑の緩和を図り、物流生産性の向上に寄与
- ・バイパスへの交通の転換が図られることにより、通学路等の地域の安全性向上に寄与
- ・第二次救急医療施設へのアクセス性が向上し、救急医療活動を支援

1. 事業概要

- ・起終点：山口県柳井市南町5丁目～山口県熊毛郡平生町宇佐木
- ・延長等：2.2km (第3種第2級、4車線、設計速度60km/h)
- ・全体事業費：約70億円
- ・計画交通量：約18,200台/日

乗用車	約13,000台/日
小型貨物	約3,100台/日
普通貨物	約2,100台/日

2. 課題

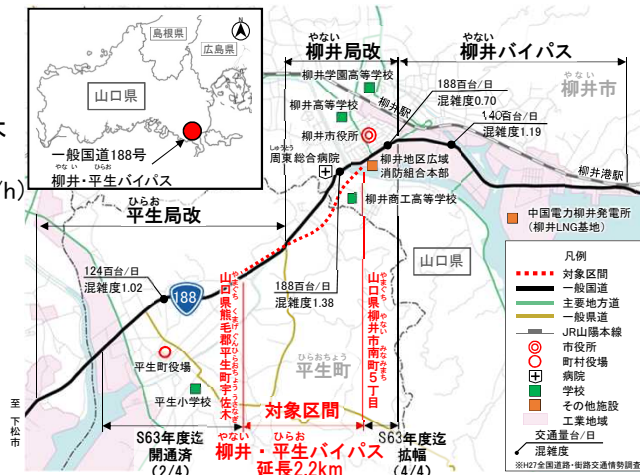


図1 事業位置図

①交通混雑による地域間道路ネットワーク機能の低下

- ・対象区間は整備済み区間に挟まれた2車線区間となっているため、交通容量不足に起因する著しい交通混雑が発生。(図1、図3)
- ・対象区間の現道は混雑度が1.25※を超え、交通混雑による地域間道路ネットワーク機能が低下。(図1、写真①)

※混雑度1.25とは、ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が増加する可能性が高い状態。



写真① 交通混雑の状況



写真② 狭小区間における自転車走行状況

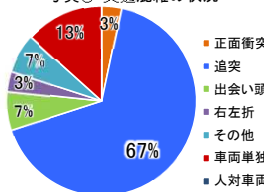


図2 死傷事故の内訳(N=30件)

②事故が多く安全性に課題

- ・周辺住民は、国道188号を生活道路、通学路として利用しているが、歩道未整備区間が存在するとともに、通勤車両や沿線からの出入り交通、通学生徒等が錯綜し危険な状況。(写真②、図3)
- ・対象区間の現道は、死傷事故率が高い交差点が連続して存在。(図3)



図3 交通混雑状況と安全性における課題箇所

③救急医療施設への救急搬送能力が低下

- ・第二次救急医療施設への搬送は、国道188号が唯一のルートであるが、混雑や事故による通行規制により救急搬送に支障。(図4)
- ・柳井市・平生町周辺地域から第二次救急医療施設まで30分以内での搬送が困難な地域が存在。(図5)



図4 柳井・平生地域の救急搬送状況



図5 救急医療施設30分カバー圏域

3. 整備効果

効果1 交通混雑の緩和による地域間道路ネットワーク機能の向上[◎]

- ・交通混雑が緩和され、地域間を結ぶ円滑な道路ネットワークを確保。

【対象区間通過時間】現況 約6分 → 整備後 約2分(約4分短縮)

※H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より【現状】現道利用ルート【整備後】柳井・平生バイパス利用ルート(対象区間は設計速度60km/hで算出)

効果2 地域の安全性の向上[◎]

- ・バイパスへの通過交通の転換により、現道188号の安全性が向上。

【死傷事故件数】現況 約14件/年 → 整備後約11件/年(約3件/年[約2割]減少)

【死傷事故率】現況 約93件/億台キロ/年 → 整備後約70件/億台キロ/年(約23件/億台キロ/年[約2割]減少)

※【現況】現況交通量推計結果(並行現道区間)【整備後】R12将来交通量推計結果(並行現道区間+柳井・平生バイパス) 人身事故件数算定式より

効果3 救急医療施設へのアクセス性向上による救急医療活動の支援[◎]

- ・バイパス整備により、第二次救急医療施設へのアクセス性が向上し、救急医療活動を支援。

【柳井市・平生町周辺地域における救急医療施設への30分カバー圏域】

人口：現況 約61.9万人 → 整備後 約62.1万人(約0.2万人増加)

【平生町役場～周東総合病院の所要時間】現況 約9分→整備後 約7分(約2分短縮)

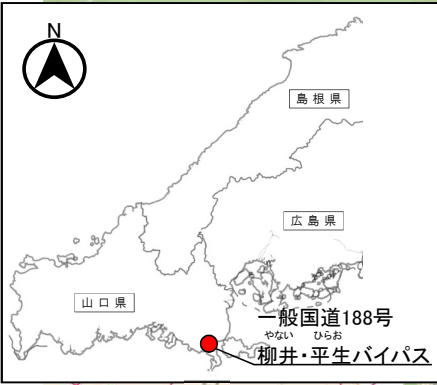
※H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より 整備後は柳井・平生バイパス設計速度60km/hで算出

■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.4	6.0%	57億円※2	77億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率 ※2: 基準年(R元年)における現在価値を記載 (現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道188号 柳井・平生バイパスに係る新規事業採択時評価



凡 例					
	対象区間		事故危険区間		市町村境界線
	高速道路		死亡事故発生箇所(H26~H29)		車線数 (2車線/4車線)
	一般国道		事故による通行止め箇所(H26~H30)		津波浸水想定区域
	主要地方道		交通量(H27全国道路・街路交通情勢調査)		津波浸水予測区間
	一般都道府県道		交通量調査		通学路 (小学校)
	その他道路		市街地		通学路 (中学校)
	橋梁構造		工業地域		通学路 (高校)
	トンネル構造		主な施設		

